

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5年時	6年時	5年時	6年時
H31 入学 現 6年生	県	全国	県	全国
	(4月)	(4月)	(4月)	(4月)
	70.2	68	63.9	63
	(1.04)	(1.03)	(1.04)	(1.02)
R6 正答率の全国比		1.00		0.99

◎ 5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎ 「令和6年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

- 国語、算数ともに全国平均・県平均とほぼ同等である。
- 国語、算数の内容・観点・問題形式については、全国平均とほぼ同様な傾向もしくは、やや高い傾向である。
- 早寝・早起き・朝ごはんの基本的な生活習慣はできていると答えている児童が多い。
- 長時間の動画視聴をしている児童が多く、自己肯定感の割合が低くなっている。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- 文章問題を読み、問題をイメージすることが難しい場合は、問題文に出てくる数字を簡単にして提示し、どんな式になるか考えさせる。
- 立式をして、答えを導くだけで満足するのではなく、考え方を友達に説明する時間を作る。難しいと感じている児童は、説明してもらうことでヒントをもらい、答えを導くことができた児童は説明しながら自分の考えを再び整理する時間にする。
- 現在、算数の考え方に大きな課題がある。特に分数のかけ算・わり算において、分数で表された割合を使った計算が理解できていないので、授業やパワーアップタイムで復習していく。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・長時間の動画視聴をしている児童には、成績との相関関係を知らせ、自分の生活習慣を考えさせる。
- ・家庭学習の時間を計画的に確保できるよう支援を行う。
- ・体験活動を中心とした郷土について学ぶ体験活動を充実し、出番を与え賞賛の機会を作り、自己肯定感を高める。